

図書館だより SAKUらいぶ

作新学院大学

令和4年12月号

103

作新学院大学女子短期大学部 図書館

☆内 容☆

- ・本は自分を映し出す鏡である
- ・図書館は、授業等でも利用されています
- ・あなたのページ
- ・らいぶ Question
- ・開館カレンダー

本は自分を映し出す鏡である

経営学部 西村 吉弘

研究職にとって、本や論文と向き合うということは、無限の可能性に触れる喜びがあります。それと同時に、率直に言って苦痛でもあります。私自身、どんなに書物と向き合っても、学術的な知見を見出し難いこと、締め切りに追われること、時に自身の能力に懐疑的になることも、しばしばです。遠藤周作が、執筆について、乾いた手ぬぐいから一滴の滴を搾り取るものだと言っています。現在、その心境が良く分かります。

転じて、学生の皆さんは、自主・自律に基づく「自由」があり、本との向き合い方も十人十色で束縛されるものもありません。そのような中で、本の中の世界観を味わってみたら、高尚な時間となることでしょう。現実の世界を旅しなくても、本の中の世界に浸ることは、様々な世界に触れ、旅をすることでもあります。その世界観に向き合うほどに、自身の無知を実感し、畏敬の念とともに謙虚さや学問と真剣に向き合う重要性が、内面からじわじわと浮かび上がってくるはずで、そのプロセスを経て、内発的動機を獲得していくことで、本を通じた力量形成を果たしていけるものと思います。大学生にとって、本は自分を映し出す重要な媒介物なのです。

卒業後に、或いは10年、20年と月日が経った時に、周囲に自身の歩みを語れるように、「今」を大事にしてください。

図書館は、授業等でも利用されています

図書館は「本や雑誌を読む」「本を借りる」場所だというイメージがあります。このイメージは間違いないのですが、大学図書館には、教室としての活用や研究推進の場としての利用等、様々な機能があります。本号では、最近の図書館利用事例についてお伝えします。

「学生&企業研究発表会」(大学コンソーシアムとちぎ主催) 参加のための作品作成

この発表会には本学から多くの学生さんが参加しました。その中で、幼児教育科5名の学生さんに参加作品の撮影場所として図書館を選んでいただき作品撮影を行いました。写真はその時の様子です。原稿を校正しながら何度も発表練習を行い、実際の撮影本番では「take8」まで試しながら、作品の完成度を高めていきました。図書館職員が撮影のお手伝いをさせていただいたのですが、撮影していて驚いたことは、5名の学生さんが全てのtakeをノーミスで発表し続けたことでした。この集中力、そして発表に取り組む積極的意欲、たいへん素晴らしい姿を見せていただきました。



授業「基礎ゼミナール2c」での「専門書のレビュー」プレゼン発表会



この授業では、学生さんたちを「雑誌論文閲覧とまとめ」「発表者」「質問者」の3グループに分けると共に、3週で3つの役割すべてを経験できるように設定されていました。3週とも、図書館職員が聴衆の一人として参加させていただきました。学生さんたちの発表テーマは、経営学に関連する「働き方改革」「労働環境」「経営者とは」等多岐にわたっていました。どの発表も専門書で調べた内容がしっかりとプレゼンに表されていました。質疑応答では、質問に対して少したじろぎながらも頭の中にある知識を総動員して一生懸命に受け答えをする姿がとても印象に残りました。

図書館では、学生さん自身が主体的に学ぶことができるようなラーニングcommons機能を充実させるために、大型ディスプレイ・貸出用パソコン・ミーティングデスク等の機器を設置しています。今回紹介した事例は授業等の取組でしたが、学生さん自身が自在に学びの場を設定し学修に取り組める環境を整備しています。やってみたい学修方法がある際には、是非図書館職員にお声かけください。

図書館アルバイトと私

経営学部 経営学科 4年 古橋 花也

私は、作新学院大学の図書館でアルバイトを行っています。業務内容は様々で、基本的な業務として本の貸出・返却の対応や本、雑誌、新聞、大学紀要を配架する業務があります。加えて、研修を受けさせていただくことがあり、最近ではスライド 1 枚で本の紹介をする研修を行いました。この研修で吸収できたことが2つあります。

1つは、プレゼンテーション力です。他の人の発表を聞き感じたことは、どの発表も「話すスピード」や「声の強弱」をつけていて、大切な部分を伝わりやすいよう工夫していたことです。是非、見習いたいです。そして、聞き手に質問を投げかけながらコミュニケーションをとっている姿を見て、私の大きな学びとなりました。

もう1つは、新たな本と出会えたことです。私は普段、筆者の体験と感じたことが書かれているエッセイを読むことが多いです。筆者の生き方や考え方を知ることができ、読み手に共感と発見を与えてくれるところが好きなポイントです。しかし、メンバーの紹介をきっかけに普段ではなかなか手に取らないような心理学に挑戦し、今まで知らなかった事実を解明してくれる本を見つけることができました。さらに、小説や図鑑、絵本などメンバーが関心を抱いていることについて知ることができ、交流が深まる機会となりました。

図書館カウンター前に、研修で紹介された本が並んでおります。ぜひ、お時間を見つけてお越しください。

らいぶ Question

「きみはほんとうにステキだね」(ポプラ社) E/Mi より出題

今回のらいぶ Question は絵本から出題してみました。

絵本には、本当にステキなお話があるのですが、この本もタイトルの通り本当にステキです。是非、手に取って読んでほしい絵本です。この絵本を探して読んでみると、下の問いの回答ができます。回答ができる頃には、あなたな、この絵本のとりこになっているでしょうね。

第1問 この絵本の作・絵は、(①) である。

第2問 この絵本の主人公は恐竜の (②) である。

第3問 主人公の恐竜は、他の恐竜に意地悪をしている際に (③) に落ちます。

第4問 (③) に落ちた主人公を助けたのは (④) という恐竜である。

図書館の本から出題しています。

答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。

本号と次号の Question を連続で全問正解した方に、記念品を贈呈します。



開館カレンダー

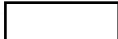




2022年12月・2023年1月

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

	午前9:00~午後6:00
	午前9:00~午後5:00
	午前9:00~午後1:30
	午前9:00~午後6:45
	休館日

7月より、**一般利用者の入館を再開**しております。来館時事前予約は不要ですが、カウンターにて「一般利用者記入用紙」等の記入をお願いします。発熱等の体調不良がある方は、入館をご遠慮願います。感染防止対策については、館内での指示に従ってください。ご理解・ご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染状況により、開館予定が変更になる場合があります。最新の状況については、図書館HPをご確認ください。

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
 Tel 028-670-3651・3652  
 Fax 028-670-3619  
 E-mail tosyos@sakushin-u.ac.jp  
 URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

